⑤　ホスチア献金について

日本のホスチアの 60%を製造していた長野カルメル会が閉鎖のため、山口カルメル会に製造が移行されます。イタリア製の製造機購入資金、約 4,000 万円が不足しています。12 月 13 日まで献金箱を出しますので、ご協力をお願いします。

⑥　講演会のお知らせ

『現代の結婚とカトリック教会の結婚に対する考え方』について

講　師：　原田豊己神父（教区司祭・下松教会主任）

日　時：　2026 年 11 月 22 日(日) 13 時 30 分

場　所：　幟町教会　マリアホール

⑦　クリスマス案内と「馬小屋の静けさの中で」リーフレットについて

クリスマス案内と「馬小屋の静けさの中で」リーフレットを入れた封筒を、各自のレターケースに入れてあります。祈りの際にご活用ください。

【本日のミサ】　『人の子はその栄光の座に着く。そして、すべての国の民をより分ける』

入祭：典 163「よろこびに」

答唱詩編：典 123 ①③④「主はわれらの牧者」

アレルヤ唱：典 266　王であるキリスト　「主の名によって来られるかたに賛美。わたしたちの父、ダビドの国に祝福がありますように。」

奉納：プリント「大波のように」

拝領：プリント「マラナタ」

閉祭：典 26「栄光は世界におよび」

「聖書と典礼」コラム

第一朗読　　エゼキエルの預言　34:11-12、15-17

まことに、主なる神はこう言われる。見よ、わたしは自ら自分の群れを探し出し、彼らの世話をする。牧者が、自分の羊がちりぢりになっているときに、その群れを探すように、わたしは自分の羊を探す。わたしは雲と密雲の日に散らされた群れを、すべての場所から救い出す。わたしがわたしの群れを養い、憩わせる、と主なる神は言われる。わたしは失われたものを尋ね求め、追われたものを連れ戻し、傷ついたものを包み、弱ったものを強くする。しかし、肥えたものと強いものを滅ぼす。わたしは公平をもって彼らを養う。

お前たち、わたしの群れよ。主なる神はこう言われる。わたしは羊と羊、雄羊と雄山羊との間を裁く。

第二朗読　　コリントの教会への手紙　一　15:20-26、28

（皆さん、）キリストは死者の中から復活し、眠りについた人たちの初穂となられました。死が一人の人によって来たのだから、死者の復活も一人の人によって来るのです。つまり、アダムによってすべての人が死ぬことになったように、キリストによってすべての人が生かされることになるのです。ただ、一人一人にそれぞれ順序があります。最初にキリスト、次いで、キリストが来られるときに、キリストに属している人たち、次いで、世の終わりが来ます。そのとき、キリストはすべての支配、すべての権威や勢力を滅ぼし、父である神に国を引き渡されます。キリストはすべての敵を御自分の足の下に置くまで、国を支配されることになっているからです。最後の敵として、死が滅ぼされます。すべてが御子に服従するとき、御子自身も、すべてを御自分に服従させてくださった方に服従されます。神がすべてにおいてすべてとなられるためです。